Environmental Report　2022

対象期間：2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日

TOKAI GAS

2023 年 9 月 19 日発行

目　次

１．事業・組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

２．経営における課題とチャンス　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

３．環境経営方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

４．エコアクション２１の体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

５．環境経営目標、環境経営計画、環境活動実績および計画の
　　取組結果と評価、次年度の取組内容　・・・・・・・・・・・・・7

６．環境関連法規等の遵守状況並びに違反・訴訟等の有無　・・24

７．問題点の是正措置及び予防措置　・・・・・・・・・・・・・・・・26

８．代表者による全体評価と見直し・指示　・・・・・・・・・・・27

１．事業・組織の概要

2023年４月１日時点の会社概要は下記のとおりです。

（１）事業者名および代表者氏名

東海ガス株式会社
代表取締役社長　丸山　一洋

（２）事務所所在地

（a）	本社	〒425-0085	静岡県焼津市塩津74番地の3
（b）	藤枝本部	〒426-0037	静岡県藤枝市青木2丁目29番1号
（c）	下仁田支店	〒370-2601	群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田479番地の3
（d）	小柳津供給所	〒425-0073	静岡県焼津市小柳津35
（e）	焼津充填所	〒425-0077	静岡県焼津市五ヶ堀之内363番地の1
（f）	中港製造所	〒425-0025	静岡県焼津市中港1丁目11番地
（g）	ショールーム くりっぴープラザ	〒426-0037	静岡県藤枝市青木2丁目8番28号
（h）	ショールーム くりっぴープラザ島田店	〒427-0019	静岡県島田市道悦2丁目22番地30号

上記のうち（a）は登記簿上の本社であり、本社機能は（b）藤枝本部で行っております。
（a）本社事務所建物は外部に賃貸しており、当社事業活動は行っておりません。
（c）下仁田支店は、2019年4月1日から事業を開始しております。
（f）中港製造所は、2022年11月に稼働しました。
（h）ショールームくりっぴープラザ島田店は2021年4月に旧島田支店を改装しショールームとして営業しております。2022年6月よりコインランドリーを併設し営業を開始しました。
今回のレポートでは、（a）の実績は含まれておりません。

（３）事業活動の概要

①都市ガス（天然ガス）及びＬＰガスの販売、都市ガスの製造
②ガス器具・住宅設備機器の販売
③建設業に関わる請負及び設計・施工・監理
※特定建設業（土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土木工事業、屋根工事業、管工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業、解体工事業）
▸許可番号：国土交通大臣許可（特-1)第27729号
▸有効期間：令和２年３月３日から令和７年３月２日まで
※一般建設業（電気工事業）
▸許可番号：国土交通大臣許可（般-1)第27729号
▸有効期間：令和２年３月３日から令和７年３月２日まで
④福祉用具レンタル・販売
⑤不動産の売買、賃貸借、仲介及び管理
⑥コインランドリー事業

（４）対象範囲

本社を除く全事業所・全組織

（５）事業の規模

売上高（2022 年 4 月～2023 年 3 月）：21,911 百万円

資本金　　：925 百万円

従業員数　　：204 名

事業所延床面積：4,507.1m²

≪参考≫

売上高・役員従業員数・事務所延床面積・お客様件数・ガス販売量・ガス導管延長の推移

			2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
	売上高	（百万円）	15,758	14,002	15,115	21,911
	資本金	（百万円）	925	925	925	925
	役員・従業員数	人	199	205	200	204
	事務所延床面積	m2	4,451.2	4451.2	4451.2	4507.1
	お客様件数	戸	75,828	76,153	76,393	76,269
	ガス販売量	千 m3	141,042	139,814	145,873	143,098
	ガス導管延長	km	1,184	1,193	1,199	1,198

＊売上高・ガス販売量は年度の数量、役員従業員数・お客様件数・ガス導管延長は年度末の数量

（６）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先　（2023 年度）

環境管理責任者　　小林　利雄

ＥＡ２１事務局　　西尾　光弘　・　杉澤　索

連絡先　　TEL:054(647)7152　FAX:054(643)4143

（７）事業年度

4 月 1 日～翌年 3 月 31 日

２．経営における課題とチャンス

当社では、経営上の課題とチャンスを環境経営方針、環境経営目標・活動計画に反映させており、経営と環境への取り組みの方向性を一致させ、環境経営に取り組んでいます。

	課題	チャンス
外部	・人口減少による将来的なガス需要の減少 ・家庭用需要家のガス消費量の減少 ・電力・ガス小売自由化に伴う競争の激化 ・地震・豪雨等による災害リスクの増大 ・脱炭素化の推進	・お客様の省エネや再生可能エネルギーへの需要の高まり ・ガス小売自由化に伴う営業拡大（広域化と、料金施策） ・防災対策への需要の高まり ・高齢化社会の進展に即したサービスへの需要の高まり ・コンプライアンスや地域貢献活動による企業価値の向上
内部	・労働人口減少対策としての労働力確保 （人材確保、人事制度見直し） ・業務効率化、生産性向上（ＩＴ化推進など） ・社員の能力開発、女性社員の活用	・業務効率化、能力開発による収益力の向上 ・残業削減、ワークライフバランス推進による生産性向上 ・自社の環境負荷低減に伴うコスト削減

環境経営方針	環境経営目標・活動計画
お客様の温室効果ガス削減と環境負荷低減	環境にやさしい天然ガス・ＬＰガスの普及促進 低環境負荷に寄与する商材、住環境の提案 ◇家庭用分野におけるＣＯ２排出削減 ◇産業用分野におけるＣＯ２排出削減
地域社会との共生	地域の環境活動に参加、お客様との結びつき強化 ◇地域行政との協調による環境活動 ◇拠点周辺の清掃活動の継続
環境法規制等の遵守	環境関連法規制遵守、達成状況の継続的確認 ◇環境法規制チェックリスト、内部監査の実施
東海ガスの環境負荷低減	残業時間削減等による省エネルギー推進 コピー・事務用品等削減による環境負荷低減

３．環境経営方針

東海ガス株式会社　環境経営方針

＜基本理念＞

東海ガスは、次世代へ引き継ぐべき健全な地球環境の保全を経営上の重要課題と認識し、地球温暖化防止や資源循環型社会の形成、地域との共生に努め、社会の持続的な発展に貢献してまいります。

＜行動指針＞

1. 環境の保全と社会の発展の調和

地球環境を健全な状態で次世代に引き継ぐために、環境保全の大切さを広く一般に伝え、環境の保全と社会の発展の永続的調和を図ります。

2. 環境法規制等の遵守

国内外の環境関連法令・規則、及び東海ガスの同意した事項を遵守します。

3. お客様の温室効果ガス削減と環境負荷低減

クリーンエネルギーである天然ガスと LP ガスの利用拡大をはじめ、太陽光発電や各種省エネルギー機器など、環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の生活・事業活動における温室効果ガスの削減と環境負荷低減をサポートします。

4. 東海ガスの環境負荷低減

東海ガスの事業活動における省エネルギー・省資源、廃棄物の削減とリサイクル、グリーン購入を推進し、環境負荷低減に努めます。

5. 環境意識の高揚と環境管理活動の継続的改善

従業員の自発的・積極的な取り組みを促し、環境意識の高揚を図るとともに、環境経営目標を設定し達成することで、環境マネジメントの継続的改善を図ります。

6. 地域社会との共生

東海ガスの環境活動を広く地域社会に公開するとともに、お客様の生活を多面的にサポートする地域密着型企業として、地域の環境活動に参加してまいります。

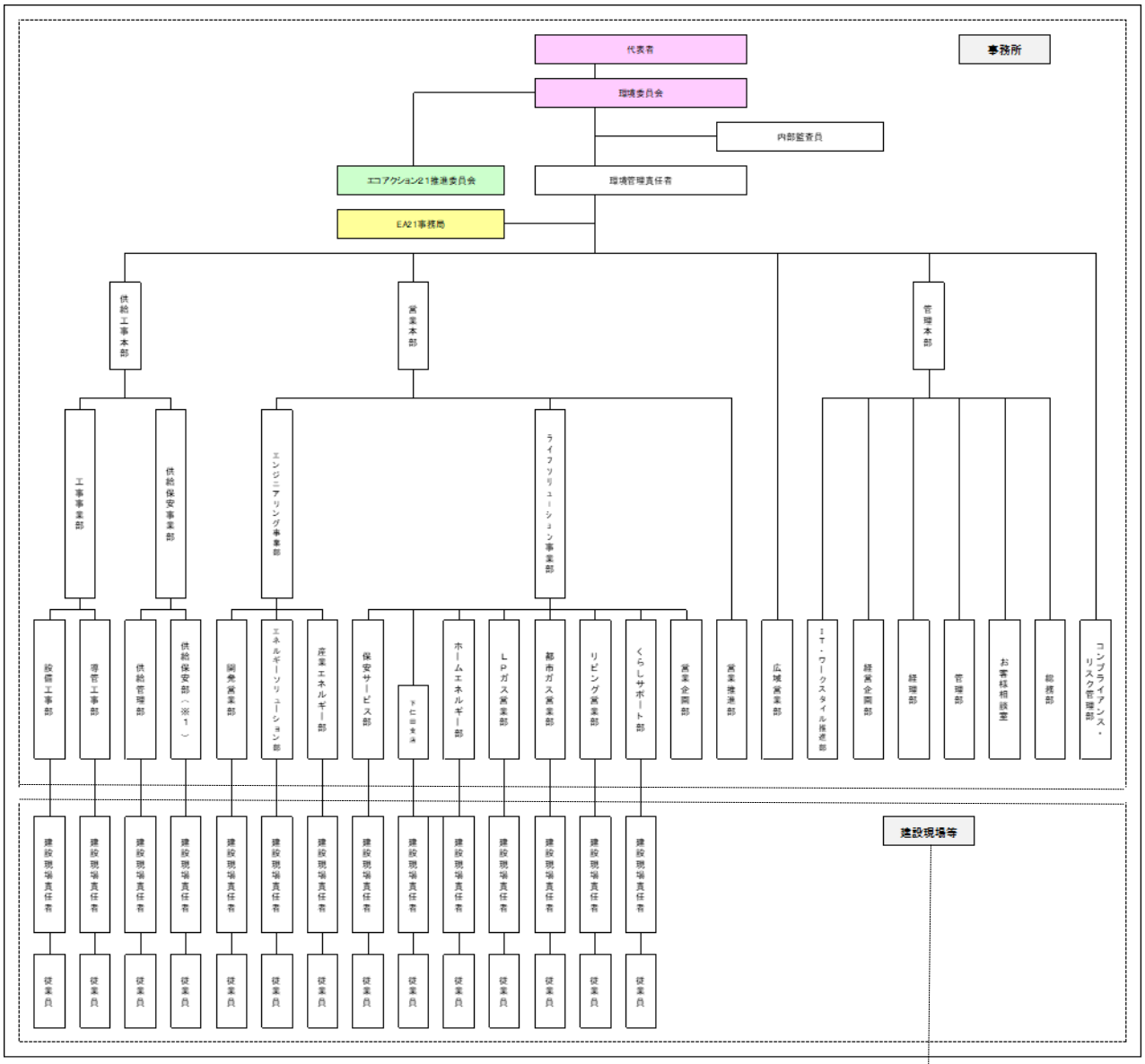
制定：平成 13 年 3 月
改訂：令和　5 年 4 月

東海ガス株式会社

代表取締役社長　　丸山　一洋

４．エコアクション２１の体制

（1）エコアクション２１の実施体制（2022 年度）



<エコアクション21の環境負荷データ取得範囲について>
＊1：供給保安部が管理する焼津鰹山は、管理委託業務が中心であるため対象範囲から除く。

（2）環境関連委員会等（2022 年度）

環境委員会	
メンバー（7名）	
委員長	代表者（代表取締役社長）
副委員長	代表取締役専務
委員	供給工事本部　担当取締役
	営業本部／広域営業部　担当取締役
環境管理責任者	管理本部 副本部長
事務局	供給工事本部 供給保安事業部 供給管理部 供給管理課
	管理本部 総務部 総務課

エコアクション２１推進委員会	
メンバー（８名）	
委員長	管理本部 副本部長
副委員長	供給工事本部 供給保安事業部 供給管理部 供給管理課
委員	営業本部 エンジニアリング事業部 業務用エネルギー部 エネルギー調査課
	営業本部 ライフソリューション事業部 リビング営業部 リフォーム管理課
	営業本部 ライフソリューション事業部 下仁田支店 業務課
	営業本部 ライフソリューション事業部 都市ガス営業部 業務課
	営業本部 ライフソリューション事業部 くらしサポート部 ショールーム課
事務局	供給工事本部 供給保安事業部 供給管理部 供給管理課
	管理本部 総務部 総務課

EA21事務局	
メンバー（２名）	
事務局	供給工事本部 供給保安事業部 供給管理部 供給管理課
	管理本部 総務部 総務課

（３）担当と役割（2022 年度）

代表者（取締役社長）　エコアクション２１に関する代表責任者
環境委員会（役員等）　環境方針の決定、環境目標・行動計画の承認、実績の評価
内部監査員（監査担当部長）環境マネジメントシステムの適合性・運用状況の監査
環境管理責任者（管理部門取締役）　エコアクション２１の実施及び運用管理責任者
エコアクション２１推進委員会（各部門の代表）各事業所における環境行動計画実施の推進
エコアクション２１事務局（西尾・松永）システム運用上の事務管理
各部署・全社員　各部門の環境行動計画立案、環境行動計画の実施

（４）エコアクション２１の状況

2001 年 3 月　環境方針制定
2010 年 10 月　焼津市エコアクション２１認証取得支援事業に参加
2010 年 12 月　エコアクション２１認証取得プロジェクトチームによる準備開始
2011 年 4 月　エコアクション２１試行期間開始
2011 年 12 月　エコアクション２１現地審査（認証・登録）
2012 年 2 月　エコアクション２１認証・登録取得
2012 年 12 月　エコアクション２１現地審査（中間審査）
2013 年 12 月　エコアクション２１現地審査（更新審査）
2015 年 1 月　エコアクション２１現地審査（中間審査）
2016 年 2 月　エコアクション２１現地審査（更新審査）
2017 年 4 月　エコアクション２１現地審査（中間審査）
2018 年 3 月　エコアクション２１現地審査（更新審査）
2019 年 10 月　エコアクション２１現地審査（中間審査）
2020 年 8 月　エコアクション２１現地審査（更新審査）
2021 年 11 月　エコアクション２１現地審査（中間審査）
2022 年 7 月　エコアクション２１現地審査（更新審査）
2023 年 2 月　エコアクション２１現地審査（中間審査）

５．環境経営目標、環境経営計画、環境活動実績および計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

（１）お客様の温室効果ガス削減・環境負荷の低減

≪実績および目標≫

実績・目標		2019年度（実績）	2020年度（実績）	2021年度（実績）	2022年度（目標）	2023年度（目標）	2024年度（目標）
家庭用分野における CO_2 の排出抑制	t-CO_2／年	ｺﾛﾅ禍影響前の年度	898.6	849.2	1163.4	19年度実績比 +1.2%	19年度実績比 +1.2%
		1150.7				1164.5	1164.5
産業用分野における CO_2 の排出抑制	t-CO_2／年	272.1	385.9	1131.6	275.1	275.4	275.4
合　計	t-CO_2／年	1422.8	1,284.5	1980.8	1438.5	1439.9	1439.9

≪環境経営計画≫

家庭用分野（期間：通年　　管理部署：ライフソリューション事業部）

・灯油ボイラー、電気温水器等からガス給湯器への燃料転換推進
・エコジョーズ、エコウィル、エネファーム、太陽光発電、ハイブリッド給湯器等の販売推進
・お客様先による天然ガスの利用推進（獲得推進）

産業用分野（期間：通年　　管理部署：エンジニアリング事業部）

・ボイラー販売による天然ガス利用
・ガス空調販売による天然ガス利用

≪2022年度の取組状況≫

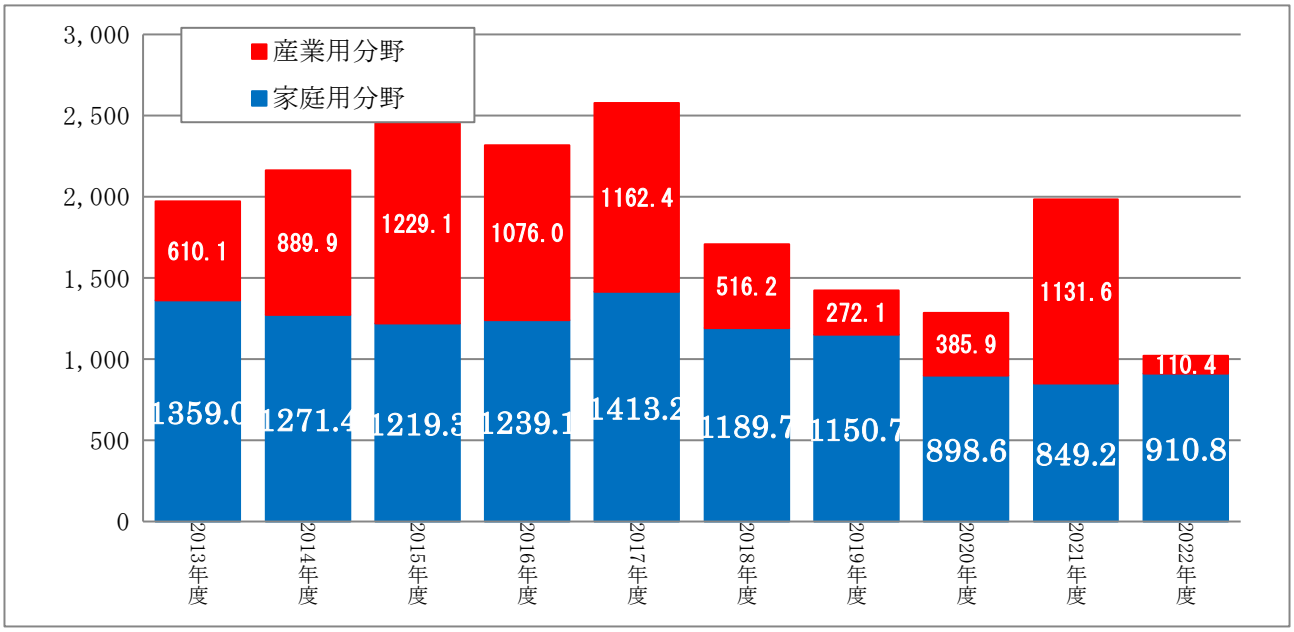
評　価		2022年度			
		（目標）	（実績）	（達成率）	（評価）
家庭用分野における CO_2 の排出抑制	t-CO_2／年	1163.4	910.8	78.2%	×
産業用分野における CO_2 の排出抑制	t-CO_2／年	275.1	110.4	40.1%	×
合　計	t-CO_2／年	1438.5	1021.2	71.0%	×

≪2022年度の活動評価および次年度以降の取組≫

家庭用分野ではビルトインコンロやエネファーム等の販売、産業用分野ではガス空調や天然ガスボイラー、コージェネレーション導入を推進した結果、家庭用・産業用の合計で1,021.2tの CO_2 排出を抑制しました。コロナ禍の影響からの回復が見られる家庭用

分野では前年を上回りましたが、産業用分野でも回復基調が見られるものの、物件の落成納入までには至らず、数字に反映することができませんでした。結果、家庭用産業用共に目標に届きませんでした。今後、ガスの環境性をさらにアピールし、目標達成に向け取り組んでまいります。

お客様の温室効果ガス削減・環境負荷の低減　過去からの推移



≪2022 年度 活動記録≫

2021年8月に藤枝市と、2022年7月には群馬県下仁田町と東海ガスにて、ゼロカーボンシティーの実現に向けた連携協定を結びました。公共施設の脱炭素化や、省エネルギー化の普及啓発として、カーボンニュートラルガスを藤枝市及び焼津市の庁舎へ導入しております。当社は今後もエリアを拡大し、環境支援を継続して行っていきます。

01 藤枝市役所　南館（2021 年 8 月導入）

02 焼津市役所　新庁舎（2021 年 9 月導入）

03 東海ガス　藤枝本部（2022 年 1 月導入）

04 東海ガス　藤枝ショールーム（2022 年 1 月導入）

05 藤枝市役所　本庁舎（2022 年 5 月導入）

2023 年 3 月末時点販売実績（自家使用含む）

160 千 m3（343 t -CO2）

今後、群馬県下仁田町での販売エリアも拡大していく。

≪参考≫季刊誌“エプロン”での環境に関する情報発信

≪参考≫お客様の温室効果ガス削減・環境負荷の低減に関する考え方

（２）東海ガスの事業活動における環境負荷の低減

①エネルギー・水の使用量削減に伴う温室効果ガスの排出削減

≪実績および目標≫

実績・目標		2019 年度（実績）	2020 年度（実績）	2021 年度（実績）	2022 年度（目標）	2023 年度（目標）	2024 年度（目標）
CO2 排出量	t-CO2	コロナ禍影響前年度	465.9	461.8	19 年度実績△1.1%	19 年度実績△1.2%	19 年度実績△1.3%
		474.3			469.1	468.6	468.1
電力使用量	千 kWh	コロナ禍影響前年度	392.7	400.4	19 年度実績△1.1%	19 年度実績△1.2%	19 年度実績△1.3%
		394.3			390.0	389.6	389.1
ガソリン燃費	Km/L	コロナ禍影響前年度	9.3	10.27	19 年度実績+1.1%	19 年度実績+1.2.%	19 年度実績+1.3%
		10.74			10.86	10.87	10.88
ガス使用量	m3	コロナ禍影響前年度	28,473	28,434	19 年度実績△1.1%	19 年度維持+島田 CL,藤枝 CL(10 ヶ月)	23 年度目標+藤枝 CL（2 ヶ月）
		29,201			28,879	39,102	40,034
水使用量	m3	コロナ禍影響前年度	1,246	1,559	19 年度実績維持	19 年度維持+島田 CL,藤枝 CL(10 ヶ月)	23 年度目標+藤枝 CL（2 ヶ月）
		1,387			1,387	3,364	3,547

＊購入電力の CO_2 排出係数は、下仁田支店は東京電力の排出係数 0.442kg-CO_2／kWh を、その他事業所は中部電力の排出係数 0.482kg-CO2／kWh をそれぞれ使用

※CL：コインランドリー

＊下仁田支店を含む

≪環境経営計画≫

◇電気使用量の削減（期間：通年　　管理部署：総務部）

・不要な照明の消灯
・不要なパソコン・ＯＡ機器の消費電力削減
・適正な室温管理（冷房２８℃、暖房２０℃）
・クールビズの実施
・節電型機器への入替
・電気設備の維持管理の徹底（照明・空調フィルター清掃等）

◇ガソリン燃費効率の向上（期間：通年　　管理部署：総務部）

・車両管理のシステムによるエコドライブ推進
・適正な車両管理（空気圧等）、エコドライブの実施
・低公害車／低燃費車への切替（ＬＰＧ車導入）

◇ガス使用量の削減（期間：通年　　管理部署：総務部）

・適正な空調使用の徹底
・帰宅時間の早期化
・帰宅時の空調 OFF 徹底

◇水使用量の削減（期間：通年　　管理部署：総務部）

・自動水栓による節水、節水型トイレの利用

・植樹への散水におけるタイマー調整および散水スケジュールの適正管理

≪2022 年度の取組状況≫

評　価		2022 年度			
		（目標）	（実績）	（達成率）	（評価）
CO2 排出量	t-CO2	469.1	503.7	93.1%	×
電力使用量	千 kWh	390.0	427.6	91.2%	×
ガソリン燃費	Km/L	10.86	11.24	103.4%	○
ガス使用量	m3	28,879	33,267	86.8%	×
水使用量	m3	1,387	2,343	59.2%	×

≪2022 年度の活動評価および次年度以降の取組≫

【CO_2 排出量】

目標比 93.1%として、達成には至りませんでした。島田コインランドリー、中港製造所の稼働、営業活動の増加によるものになります。今後の目標値については増加した事業分を修正します。尚、2013 年度の藤枝本部移転後に比すれば、電力使用量、ガス使用量は大きく削減しています。

【電力使用量】

2022 年度は目標比 91.2%で達成に至りませんでした。電力増の要因はコロナ禍により停止していたショールームでの営業活動が増加したこと、島田コインランドリーの稼働・中港製造所の稼働によると考えます。継続した組みとして、業務パソコンの電源を自動シャットダウンするシステム運用により、社員の時間内の業務効率化意識向上と、時間外削減を図っています。今後も不要照明の消灯等、より節電意識の徹底を進めることで環境意識を高めていきます。

【ガソリン燃費】

2022 年度の燃費効率は 11.24km/L（走行距離：1,354,621km）で、目標を達成しました。燃費向上のために、車両管理システム（急加速・アイドリング時間などの発生時の警告、運転評価）を活用することで、エコドライブを意識付するとともに安全運転にも注意するよう、今後も継続して取り組んでいきます。

【ガス使用量】

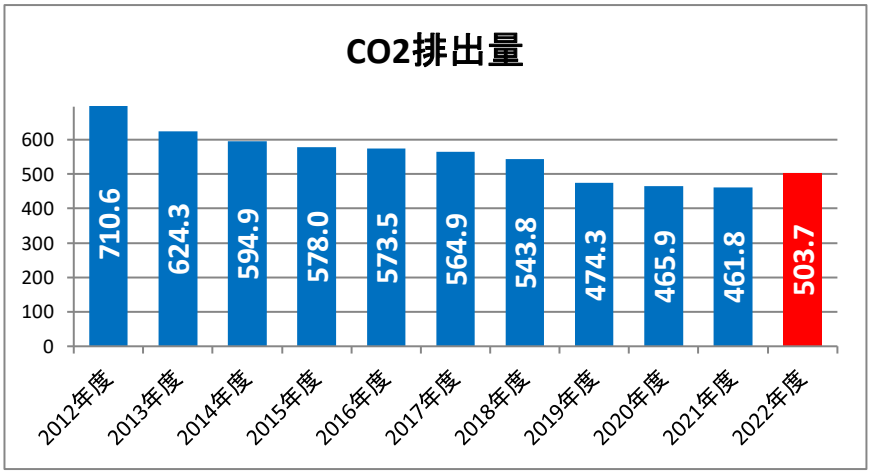
2022 年度は、目標比 86.8%で目標を達成できませんでした。島田のコインランドリー稼働によるガス量増加が起因しています。2023 年度は、藤枝でのコインランド

リーも稼働しますので、目標数値を修正します。一方、事業所ガス使用量は、事務所内の適切な室温管理や、消し忘れなどの無駄の廃止はもちろんですが、電気使用量と同様に残業時間削減によってもガス使用量の削減効果が期待できますので、今後も引き続き取り組んでまいります。

【水使用量】

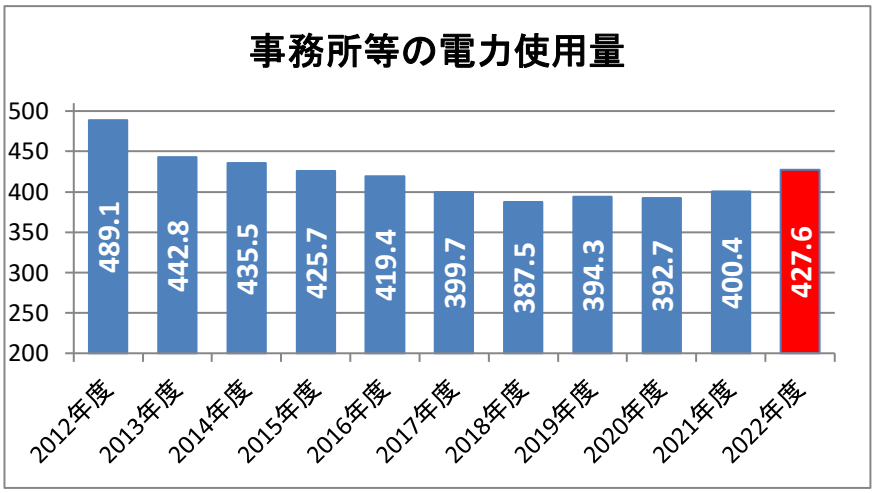
2022 年度は、目標比 59.2%で目標達成には至りませんでした。2022 年度は、島田コインランドリーの稼働による 540 ㎥が第一の増加要因です。その他、イベント開催の頻度も増えた影響もありますが、8 月にショールームの水道設備故障による異常放流により約 400 ㎥があったことも要因です。今後は日常清掃時に建物設備にも注意を払い、異常に早く気付けるように注意します。藤枝コインランドリーの稼働のため、2023 年度 2024 年度の目標を修正します。

≪活動記録の推移≫



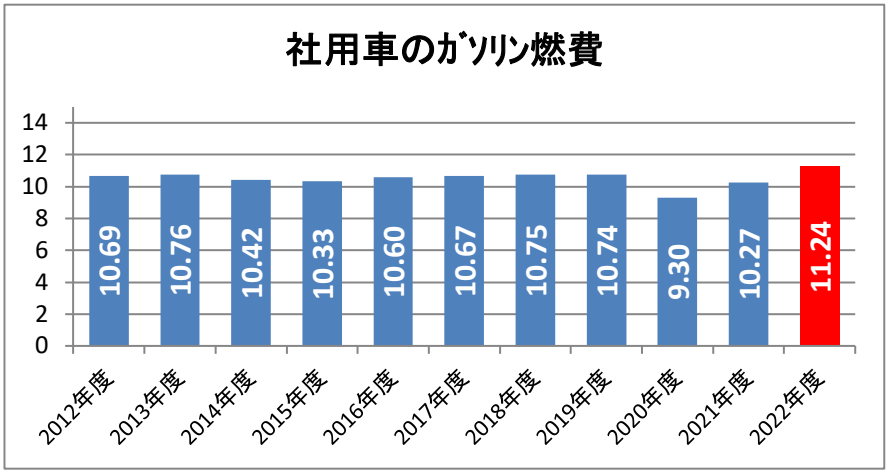
EA21 の取り組みにより
2012 年比 70.9%。
29.1%の CO_2 排出を削減。
事業活動増加により
2019 年度比 106.2%

※2019 年度より電力排出係数の見直しを実施 0.69→0.482 CO2/kwh、下仁田支店をカウント。



2012 年比　87.4%
2013 年度の事務所統合に加え、節電意識の高まりで、電力使用量は年々減少していたが、2017 年度からほぼ横ばい。2021 年度増加傾向、2022 年度増加。

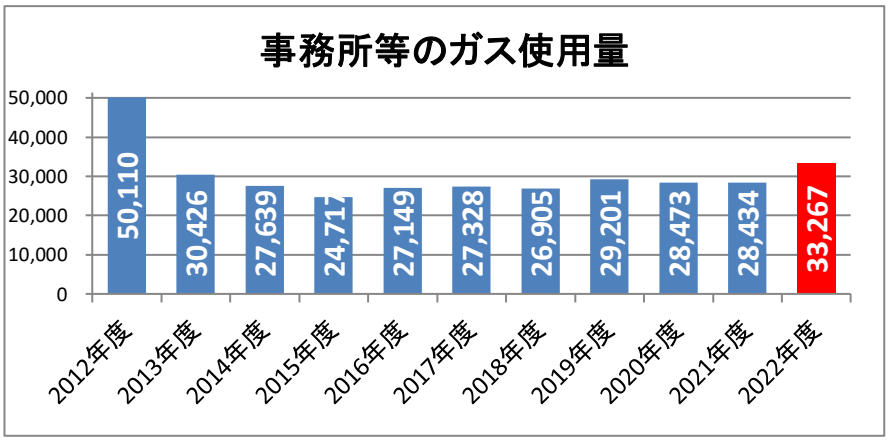
2019 年度比 106.8%
※2019 年度より下仁田支店をカウント。
※2022 年度よりコインランドリー・中港製造所稼働分増加



2012 年比　105.1%
2012 年実績からほぼ横ばい。

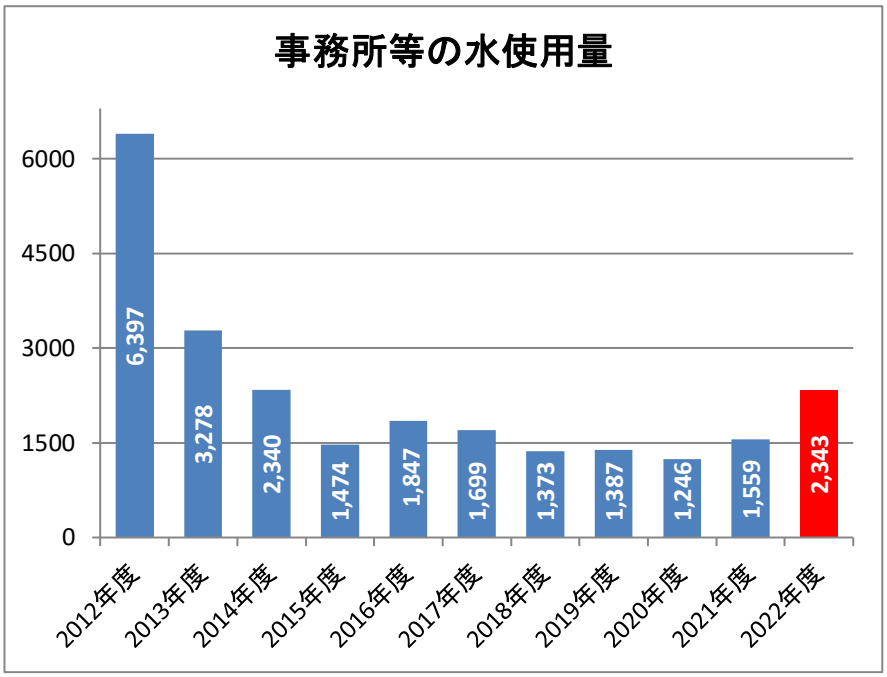
2019 年度比は燃費向上

※2019 年度より下仁田支店をカウント。



2012 年比　66.3%
2013 年度の事務所統合時にガス空調機器を高効率機器に変更。

2019 年度比 113.9%
※2019 年度より下仁田支店をカウント
コインランドリー島田店の稼働により増加。



2012 年比　33.2%
2012 年度の事務所統合により水使用量は大幅に削減。
2022 年はコインランドリー稼働、漏水にて増加。
2019 年度比達成率 168.9%
※2019 年度より下仁田支店をカウント

→
2012 年度より　エコアクション 21 による取組開始

②廃棄物の排出削減及びリサイクル率の維持・向上

≪実績および目標≫

実績・目標			2019年度（実績）	2020年度（実績）	2021年度（実績）	2022年度（目標）	2023年度（目標）	2024年度（目標）
一般廃棄物	リサイクル率	%	ｺﾛﾅ以前 88.9	90.3	87.9	19年度+0.9% 89.8	19年度+0.11% 90.0	19年度+0.11% 90.0
	排出量	t	39.56	39.45	42.3	---	---	---
	リサイクル量	t	35.17	35.5	36.6	---	---	---
産業用廃棄物	リサイクル率	%	69.1	69.7	72.0	数値把握	70.2	70.2
	排出量	t	1085.6	1124.1	1168.2	---	---	---
	中間処理量	t	1156.1	1087.0	1168.2	---	---	---
	リサイクル量	t	750.1	783.5	840.8	---	---	---
ガス導管埋設時における掘削土量の削減	非開削工法による削減	m3	64	185	69	数値把握	数値把握	数値把握
	浅層埋設による削減	t	10,060	8,097	8,290	数値把握	数値把握	数値把握
ガス導管工事時に排出するアスコン	リサイクル率	%	100	100	100	100	100	100
	発生量	t	3,633	3,825	4,891	---	---	---
	リサイクル量	t	3,633	3,825	4,891	---	---	---

≪環境経営計画≫

◇一般廃棄物リサイクル率の向上（期間：通年　管理部署：総務部）

・一般廃棄物（紙ゴミ等）の分別廃棄の徹底

・廃棄物置き場の巡回点検の実施

◇産業廃棄物リサイクル率の向上（期間：通年　管理部署：総務部・リビング営業部）

・産業廃棄物の分別廃棄の徹底

・廃棄物置き場の巡回点検の実施

・ガラス陶磁器のリサイクル方法の検討

◇ガス導管埋設時における掘削土発生量の削減（期間：通年　管理部署：導管工事部）

・ガス管入替工事における工法として非開削工法への設計変更

・ガス管埋設時の浅層埋設および掘削幅の削減による掘削土量の削減

◇ガス導管工事時に排出するアスコンのリサイクル率100%の維持

（期間:通年　管理部署:導管工事部）

・工事で発生したアスファルト・コンクリートの廃棄時に協力業者に指導の実施。

・毎月の排出量、リサイクル率報告

≪2022 年の取組状況≫

評　価			2022 年度			
			（目標）	（実績）	（達成率）	（評価）
一般廃棄物	リサイクル率	%	89.8	93.9	104.5	○
	排出量	t	---	44.5	---	---
	リサイクル量	t	---	41.8	---	---
産業用廃棄物	リサイクル率	%	数値把握	88.0	---	○
	排出量	t	---	1306.1	---	---
	中間処理量	t	---	1306.1	---	---
	リサイクル量	t	---	1149.2	---	---
ガス導管埋設時における掘削土量の削減	非開削工法による削減	m3	数値把握	60	---	○
	浅層埋設による削減	t	数値把握	9,379	---	○
ガス導管工事時に排出するアスコン	リサイクル率	%	100%	100%	100%	○
	発生量	t	数値把握	4,802	---	○
	リサイクル量	t	数値把握	4,802	---	○

≪2022 年の活動評価および次年度以降の取組≫

一般廃棄物の排出量は、可燃ごみ 2.7 t 資源ごみ 41.8 t で可燃ごみと資源ごみの分別をしっかり行うよう努めました。今後も、紙資源の分別をより適切に行うことでリサイクル率向上に努めるとともに、紙資源の有効活用を推進していきます。

産業用廃棄物は 1306.1 t で、数値把握を目標としています。今後の課題としては排出量を減らすこと、及びガラス陶磁器等を排出時のリサイクル方法を検討する必要があります。

ガス工事における、掘削土量の削減については、数値把握することが活動内容となっています。特に非開削工法による削減は年々減少していますが、これは対象となる現場の減少しているためです。この工法が、掘削土量の大幅削減に寄与することには変わりないので、今後も非開削工法を推奨していきます。

≪参考≫非開削工法について

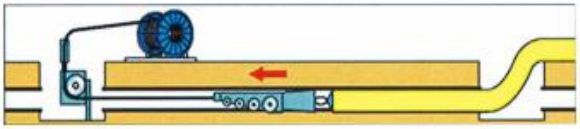
事業活動に伴う環境負荷の低減

ガス管入替工事での廃棄物削減　非開削工法

ガス管の入替における一部の工事で環境にやさしい非開削工法を採用しています。非開削工法は道路を掘らずに行いますので、従来の工事に伴う掘削土・アスファルトコンクリート塊などの排出を最小限に抑えることができます。また、入替をするガス管をさや管として再利用しますので、撤去管廃棄物の発生もありません。
非開削工法は以下の工法を採用しています。

■トリックトレンチレス工法■

口径50mmの既設管にワイヤーを通し、ワイヤーの先に取り付けた、管を切り裂くカッターと新管を引っ張り、既設管の下側を縦方向に切り裂きながら、新管のポリエチレン管に入替る工法。



トリックトレンチレス工法のイメージ図

■トリックトレンチレス工法累計実績延長　**2022 年度末累計延長 6.3 km**

■更生修理工法■

既設管内面に、柔軟性のあるチューブを空気圧により徐々に反転しながら貼付けガス管をよみがえらせます。

■更生修理工法累計実績延長

2022 年度末累計延長 1.9 km

■トリックトレンチレス工法■

■更生修理工法■

■インサーション工法■

口径100mm以上の既設管の中に新管のポリエチレン管を挿入する工法

■インサーション工法累計実績延長　**2022 年度末累計延長 3.4 km**

（非開削工法のメリット）

【環境面】

◇ガス工事における掘削土・アスファルト・コンクリートの排出削減につながる。
◇旧ガス管をさや管（保護管）として再利用するためガス管廃棄物も発生しない。
◇掘削土の削減により、掘削土・埋戻し土の運搬に伴う車両から発生する CO_2 排出量の削減にも貢献できる。

【それ以外】

◇工事期間の短縮につながる。
◇工事による交通規制やお客様への影響を抑える。
◇工費の削減につながる。

③事務用品購入に関する取組

≪実績および目標≫

実績・目標		2019 年度（実績）	2020 年度（実績）	2021 年度（実績）	2022 年度（目標）19 年度実績比△1.1%	2023 年度（目標）19 年度実績△1.2%	2024 年度（目標）19 年度実績△1.3%
コピー用紙購入量	千枚	1,586	1,570	1,435	1,568	1,567	1,565
事務用品のグリーン購入率	%	64	74	59	65	65	65

≪環境経営計画≫

◇コピー用紙購入量の削減（期間:通年　　管理部署：総務部）

・不要な印刷の削減
・会議時のスライド活用
・電子メールや社内情報共有システムの活用
・ｉＰａｄの有効利用

◇事務用品のグリーン購入率の維持（期間:通年　　管理部署：総務部）

・事務用品を購入する担当者を明確にすることで、グリーン購入の徹底（購入時に確認するフロー）
・購入種類の違いにより、ショールームの購入率が低い。

≪2022 年の取組状況≫

評　価		2022 年度（目標）	（実績）	（達成率）	（評価）
コピー用紙購入量	千枚	1,568	1,422	110.2%	○
事務用品のグリーン購入率	%	65	67	103.0%	○

≪2022 年度の活動評価および次年度以降の取組≫

コピー用紙の購入削減については、2022 年度は目標比▲146 千枚となり、目標達成ができております。会議に iPad を活用し、資料を電子化したことで 3 年前から紙削減の成果がでていると考えられます。今後も、決裁書類のワークフロー化（電子検印化）の検討を行い、用紙削減に努めます。

事務商品のグリーン購入率は、目標比 103.0%と達成することができました。引き続きグリーン購入対象商品を優先的に選択してまいります。

（３）環境意識の高揚と環境管理活動の継続的改善・地域社会との共生

≪実績および目標≫

実績・目標		2019 年度（実績）	2020 年度（実績）	2021 年度（実績）	2022 年度（目標）	2023 年度（目標）	2024 年度（目標）
海岸清掃の実施	回	1	0	0	1 回以上	1 回以上	1 回以上
	人	408	---	---	---	---	---
石津浜防災林整備活動	回	1	0	0	2 回以上	2 回以上	2 回以上
事務所周辺清掃活動	回	34	35	61	24 回以上	24 回以上	24 回以上
地域環境ｲﾍﾞﾝﾄ参加	回	1	0	0	1 回以上	1 回以上	1 回以上
環境関連ｾﾐﾅｰ実施	回	5	0	0	14 回以上	14 回以上	5 回以上
エコクッキング教室の実施	回	3	0	0	8 回以上	8 回以上	8 回以上

≪2022 年度の取組状況≫

評　価		2022 年度（目標）	（実績）	（達成率）	（評価）
海岸清掃の実施	回	1 回以上	0	0.0%	×
	人	---	---	---	---
石津浜防災林整備活動	回	2 回以上	1	50.0%	×
事務所周辺清掃活動	回	24 回以上	82	342%	○
地域環境イベント参加	回	1 回以上	0	0.0%	×
環境関連セミナー実施	回	14 回以上	0	0.0%	×
エコクッキング教室の実施	回	8 回以上	0	0.0%	×

≪2022 年度の活動評価および次年度以降の取組≫

2022 年度は、感染症拡大が収束しきらず、小規模での防災林整備活動を実施するに留めざるを得ませんでした。多数の地域住民、地元高校生、従業員が参加している石津浜整備活動や環境セミナーの実施は叶いませんでした。コロナウイルスが五類になった現在も、大規模な活動は困難ですが、活動を継続するため、しずおか未来の森サポーターとして、再開に向けて計画を立て、できることから取り組んでいきます。

◇◇ショールームを中心とした環境活動◇◇

エントランス

二次電池式電気自動車「アイミーブ」
使用。充電スタンドも設置しています。

新エネルギー

エコジョーズ、
ハイブリット給湯器
エネファーム、蓄電池、
太陽光発電の展示。
エコロジーで経済的な
新時代のエネルギー
システムをご紹介します。

トイレ

節水型トイレや、
LED照明自動水栓等、
エコな商品をご紹介

システムキッチン

多種メーカーの
最新システムキッチンの展示。
お客様のご要望に合わせてご提案します。

床暖房

ガス温水式床暖房は、
なぜ快適なのか。
温水が流れる床下部も
ご案内しながら、
仕組みを解説します。

ガスコンロ

鍋を感知し、自動で
火加減を調節。
充実した安全機能や多彩な
調理機能をプラスした
最新機器のご紹介。

多目的ホール

東海ガスセミナーの他、
市町村で行われる
講習会会場にも。
地域のコミュニケーションの
場としてご利用ください。

料理実演コーナー

実際に調理しながら、
最新ガスコンロの多彩な機能を
実体験して頂きます。
また、ガスと電気の比較実演も
行っています。

クッキングスタジオ

丁寧な指導で楽しく
学べる料理教室は大変好評です。
親子料理教室や、低糖スイーツ、
健康ごはん教室等も積極的に実施！
是非お気軽にご応募下さい。

エコロジー屋上空間

太陽光発電システム
太陽熱温水システムを
設置するとともに、
屋上緑化にも取り組み、
環境と調和した施設作りを
進めています。

ショールームでは、断熱窓の紹介や、
節水型の水栓、保温浴槽、省エネ補助金等
常に環境を意識し、最新情報をお客様にお伝えし接客に努めています

◆情報誌「エプロン」による環境活動

2022年度
発行情報誌
「エプロン」

◇◇◇地域への発信力向上・環境意識を高める社内周知◇◇◇

　地域のお客様の快適な暮らしや環境に関わる情報について、社内で定期的に発信することにより、全社員の環境意識を高めております

※コロナウイルス感染拡大により、リモート教育・社内動画にて教育を実施。

2020 年度以降コロナ禍で生活様式が変わり、対面営業が制限される中、新たな取り組みとして「ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル」を開設し、お客様によりわかりやすく環境商材をご紹介しております。

動画でわかりやすく
環境商材をご説明します！

2022 年 4 月
公式インスタグラム開設
最新情報を分かりやすく
発信しています。

６．環境関連法規等の遵守状況並びに違反・訴訟等の有無

（１）環境関連法規、事業に関係する法規等の遵守状況

≪環境管理責任者による環境監査≫
環境関連法規、事業に関係する法規等の遵守状況を確認
重大な違反はありませんでした。

環境管理責任者：小林　利雄
遵守確認日：2023 年 9 月 12 日

≪統制部門による内部監査≫
環境関連法規、事業に関係する法規等の遵守状況を確認
重大な違反はありませんでした。

コンプライアンス・リスク管理部部長：横山　淳一
遵守確認日：2023 年 9 月 6 日

（２）環境関連法規

【環境関連法規】

法規・条例　［正式名称］	当社の対応	遵守状況
省エネルギー法 ［エネルギーの使用の合理化等に関する法律］	エネルギー使用量は届出基準以下のため、届出はしていない。	対象外
循環型社会形成推進基本法	・３Ｒの推進	適正
リサイクル法 ［資源の有効な利用の促進に関する法律］	・該当品なし	該当なし
廃棄物処理法 ［廃棄物の処理及び清掃に関する法律］	・許可を受けた業者と業務委託契約 ・マニフェストを交付し、５年間保管 ・産業廃棄物保管場所であることを表示した掲示板の設置と廃棄物置場の管理	適正
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・廃棄物処理の運搬、中間処理場、最終処理場の状況を１回/年　定期的に確認 ・事務所毎に産業廃棄物管理責任者を選任	適正
容器包装リサイクル法 ［容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律］	・該当品なし	該当なし
家電リサイクル法 ［特定家庭用機器再商品化法］	・特定家庭用機器廃棄物管理票を交付し、3 年間保管	適正
小型家電リサイクル法 ［使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律］	・パソコン処分について、許可を受けた業者と業務委託契約	適正

法規・条例　［正式名称］	当社の対応	遵守状況
建設リサイクル法 ［建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律］	・対象建設工事で排出した廃棄物量を届出	適正
自動車リサイクル法 ［使用済自動車の再資源化等に関する法律］	・リースのため対象なし	対象なし
グリーン購入法 ［国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律］	・事務商品を対象に、グリーン購入率を把握	適正
フロン排出抑制法 ［フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律］	・許可を受けた業者との業務委託契約 ・当社が所有する第一種特定製品の点検実施及び適切な管理	適正
PCB 特別措置法 ［ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法］	・対象物は全て処理完了しており、保管なし	対象なし
下水道法	・使用開始時に届出済	適正
浄化槽法	・使用開始時に届出済 ・許可を受けた業者と保守管理契約を締結	適正
騒音規制法	・対象設備(空調機、発電機)設置時に届出済	適正
振動規制法	・対象設備（空調機）設置時に届出済	適正

【事業に関係する法規】

法規・条例・規制	当社の対応	遵守状況
ガス事業法	・ガス事業の適切な運営、ガスの安定供給 ・ガス工作物の工事・維持及び運用に係る保安の確保 ・ガス用品の適切な販売	適正
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律	・液化石油ガスの適切な販売 ・供給、消費設備の保安の確保	適正
高圧ガス保安法	・高圧ガス製造許可の届出 ・保安統括者・保安係員の設置による充填設備の保安体制の確保 ・高圧ガスの適切な販売	適正
電気事業法	・高圧受電設備、自家発電設備の設置時の届出 ・定期点検による保安の確保	適正
消防法	・防火教育、訓練を毎年実施 ・有資格業者との業務委託契約による防火設備の定期保守点検の実施 ・対象設備（発電機）	適正

（３）違反、訴訟の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

７．問題点の是正措置及び予防措置

目標未達成の 環境経営計画	考えられる要因	是正措置・予防措置
産業用分野における CO2 排出抑制	コロナ禍により企業収益の悪化から、設備投資意欲が低迷。	補助金活用によるイニシャルコストの軽減しつつ、省エネ設備の提案を進める。
家庭用分野における CO2 排出抑制	コロナ禍の中でも、徐々に購入意識の向上が見られるが、より環境負荷軽減効果の高い高額商品の受注が伸びない。	催事活用により、エネファーム・ハイブリッド給湯器の販売推進。燃料転換による都市ガス導入を進める。
事務所等の水使用量削減	コインランドリーによる営業使用が増えるため、増大は避けられない。	植栽散水、風呂トイレ等の水道設備の状況の定期的チェック、節水意識徹底
事務所等の電気使用量削減	コインランドリーに、製造所等よる営業使用が増えるため、増大は避けられない。	自社使用分の電気使用量の削減のため、社内巡視による節電、ノー残業デーの再開
環境意識の高揚と環境活動	コロナ禍の影響による活動制限	小規模人員で開催の環境活動、SNS 等活用した環境教育活動など、実情に合った活動方法の開発

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

1・見直し関連情報		項　目	確認	:（必要に応じて評価・コメント記載）
	1	エコアクション21文書	☑	環境レポートとして記録・文書を作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	・ガソリン燃費は達成 ・CO2排出抑制、CO2排出量、電力・ガス・水使用量は未達成
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☑	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	今までの実績を継続的に比較のうえ削減に取り組んで行きます。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑	ライフライン事業者の責任として環境活動に継続して取り組んで行きます。
	8	その他（　　）	□	

2・代表者による全体評価・見直し指示

昨年来当社の環境に関する取組としてCNガスの活用販売があります。まずは自社活用として、藤枝本部及び「くりっぴープラザ」において、従来の都市ガスからJ-クレジット活用したCNガスにするだけでなく、需要家販売することで、2022年度までに 343tのCO2削減に寄与しました。また、中港製造所が稼働したことにより、従来大気放散されていたメタンガスを回収することも、重要な温暖化対策となります。事業活動における環境負荷低減については、これらの事業活動を拡大するなかで、電力、水道の削減目標は達成できませんでしたが、弊社の活動は社会全体のCO2削減に寄与するものと自負をもって、今後も事業活動・環境活動に邁進します。合わせて社員には環境意識を持って、エネルギー削減に取り組むよう指示しました。

お客様の温室効果ガス削減・環境負荷の低減への取り組みについては、家庭用分野ではビルトインコンロやエネファーム等の販売、産業用分野ではガス空調やガスボイラー導入を推進した結果、家庭用・産業用の合計で1,021.2tのCO2排出を抑制できました。コロナ禍が収束しつつある情勢を受けようやく、家庭用分野でも環境商品の購入意欲が向上の兆しがありましたが、産業用分野では設備投資意欲の回復が低迷し、目標数値の達成には至りませんでした。今後も急速な市場回復は難しいですが、これらの取組は今後も継続していくとともに、補助金等を活用してより力強く推進する所存です。

2022年度は、7月に群馬県下仁田町とゼロカーボンシティに向けた協定を締結し、カーボンニュートラルの使用が拡大しました。 また、外部からの環境に関する苦情は引き続きゼロを継続すべく、環境教育による従業員の環境意識醸成、チェック体制の強化によるコンプライアンス意識の向上を図り、環境関連法規等の法令遵守をこれまでと同様に徹底いたします。また、地域密着の企業として、地域の要請に即した事業活動、環境活動を展開して参ります。

2023 年 9月 19日
東海ガス株式会社
代表取締役社長　　丸山　一洋

		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・(無)	
	2	環境経営目標	有・(無)	
	3	環境経営計画	(有)・無	未達成の目標については、計画を再確認する。
	4	環境に関する組織（実施体制含め）	有・(無)	
	5	その他のシステム要素	有・(無)	
	6	その他（　　）	有・(無)	

https://www.tokaigas.co.jp/

TOKAI GAS